

授 業 科 目 名	失語症Ⅱ	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	1年（後期）
担 当 教 員 名	春 芳 準 朗	単 位 数	1単位
		時 間 数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕 失語症の基礎的な分野を学習する。</p> <p>〔到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・失語症の評価・診断についておおまかな流れがわかる。 ・失語症治療の理論と技法について説明できる。 ・認知神経心理学的モデルについて説明できる。 		
授 業 回 数	授 業 内 容		
第 1 回	その他の失語症候群		
第 2 回	その他の失語症候群		
第 3 回	失語症の評価・診断		
第 4 回	失語症の評価・診断		
第 5 回	言語治療の理論と技法		
第 6 回	言語治療の理論と技法		
第 7 回	言語治療の理論と技法		
第 8 回	言語治療の理論と技法		
第 9 回	認知神経心理学的モデル		
第 10 回	認知神経心理学的モデル		
第 11 回	認知神経心理学的モデル		
第 12 回	言語治療の実際		
第 13 回	言語治療の実際		
第 14 回	言語治療の実際		
第 15 回	まとめ		
評 価 方 法	定期テスト（100%）		
教 科 書 参 考 図 書	<p>藤田郁代「失語症学 第3版」（医学書院）</p> <p>〔教科書〕 毛束真知子著「絵でわかる言語障害」（学研）</p> <p>日本高次脳機能障害学会編著「標準失語症検査マニュアル」（医歯薬出版会社）</p> <p>〔参考図書〕 紺野加奈江著「失語症言語治療の基礎」（診断と治療社）</p> <p>伊藤元信・笹沼澄子「新編 言語治療マニュアル」（医歯薬出版会社）</p>		
履 修 上 の 留 意 点	失語症は、臨床現場でかなり多く取り扱われる言語障害の一つです。基礎をしっかりと身につけ、今後の臨床実習に役立てるよう常に探求心を持ち続けることが大切です。		
メ ッ セ ー ジ			